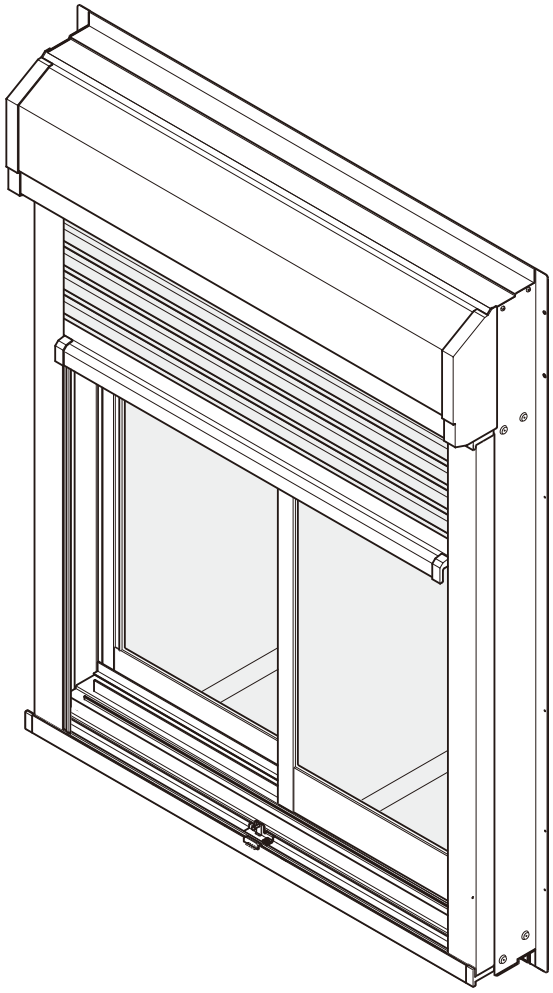
LIXIL

お施主さま用

窓シャッター

イタリヤ（リモコン電動）

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目　次

■重要なお知らせ……1
■警告用語の種類と意味……1
■特に注意していただきたいこと……2～5
注　意……2
お願い……3・4
ご使用にあたっての留意事項……5
■各部のなまえとはたらき……6
■ご使用前の確認事項……7
プレッシャーリターンセンサーとは……7
■リモコンのなまえとはたらき……7・8
1chリモコン……7
4chリモコン……8
タイマー付リモコン……8
カードリモコン……8
■操作のしかた……9・10
1chリモコンの操作のしかた……9
4chリモコンの操作のしかた……9
タイマー付リモコンの操作のしかた……10
カードリモコンの操作のしかた……10
■電池交換のしかた……11・12
1chリモコン・4chリモコンの電池交換のしかた……11
タイマー付リモコンの電池交換のしかた……12
カードリモコンの電池交換のしかた……12
■追加リモコンの登録と削除……13
追加リモコンの登録のしかた……13
追加リモコンの削除のしかた……13
■設定のしかた……14～16
1.初期状態……14
2.現在時刻の設定方法……14
3.日付の設定方法……14
4.タイマー作動時間の設定方法……15
5.設定完了方法……15
6.使用方法……16
■異常の原因と解除のしかた……17
■連窓方立の取外し方・取付け方……18
■幅木ロック機構の使い方……19
■停電時開閉機構の使い方……20・21
1.停電時開閉機構とは……20
2.開閉のしかた……20
3.電動復帰のしかた……21
■点検とお手入れ……22・23
点検……22
プレッシャーリターンセンサーの作動点検……22
お手入れ……23
■シャッターが動かない場合……24
■商品保証について……25

重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のために、必ずお守りください。
「イタリヤ(リモコン電動)」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。
なお、この取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって、「イタリヤ(リモコン電動)」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2.この取扱い説明書は版権を有し、その権利は留保されています。
3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	0120-413-433

警告用語の種類と意味

※この章では、「イタリヤ(リモコン電動)」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

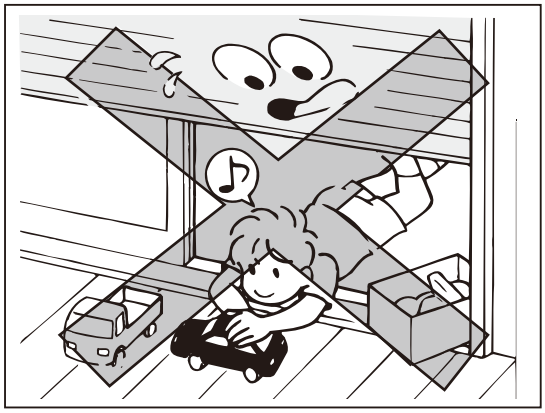
警告用語	意　味
⚠注 意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

（安全のため、必ずお守りください）
※ご使用の際は商品に貼ってあるラベルもよくお読みの上、正しくご使用ください。

⚠ 注　意

●開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。取除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。



●負荷を検出させた場合は、一度全閉まで作動させた後に全開位置まで作動させてください。

●開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

●開口部にはプレッシャーリターンセンサーが感知できない範囲（不感知帯〔全開から閉開始後約４秒、下枠より300mm程度〕）が出ます。この範囲に人・物がないことを確認してから作動させてください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。

●プレッシャーリターンセンサーの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどありましたらリモコンの停止スイッチを押して、ただちにシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障の原因になります。

●プレッシャーリターンセンサーを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。シャッターと窓枠の間に手を挟まれてケガをするおそれがあります。

●改造しないでください。特にモーターおよびリモコンの改造・配線の変更は事故・故障の原因となります。

●点検口を開けて内部の部品を触らないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。

●連窓方立の取付け後に、落し錠のレバー部「閉」刻印が半分かくれるまでレバーを下げて、落し錠受けに固定されていることを確認してください。固定されていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながります。

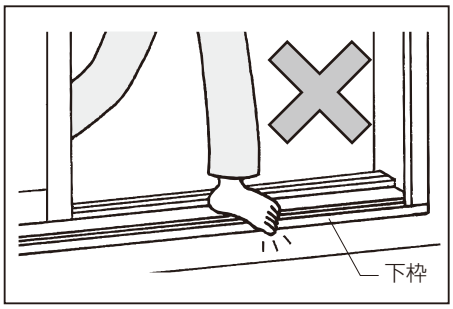
●「イタリヤ（リモコン電動）」は、電波を利用する機器ですので、心臓ペースメーカーなどをご使用の方は念のため医療機器メーカー様にご相談ください。

お願い

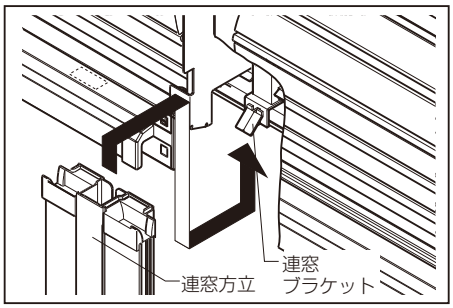
●外開きサッシに取付けてある場合は、障子が閉まっていることを必ず確認してください。
●短時間で繰り返し開閉しないでください。保護装置がはたらき、一定時間動作が停止することがあります。（故障ではありません）10～15分程度時間をおくと、再び開閉できます。
●シャッターは少なくても1カ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。
●シャッターを無理に引っ張ったり、押し上げたりしないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。
●おやすみまたは外出の際は、安全のため、シャッターを閉めて幅木ロックを施錠してください。また、必ず内側のサッシも施錠してください。強風・雨の際もきちんと施錠してください。
●幅木ロックを施錠したまま、シャッターを開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解除してから開閉操作をしてください。
●シャッターボックスに、はしごをかけたり、上に乗ったりしないでください。変形および故障、転落や負傷につながります。
●シャッターボックスに雪が30cm以上積もった場合は、必ず取除いてください。変形および故障につながります。また、その際は足場をしっかり確保して作業してください。転落・負傷するおそれがあります。
●シャッターが凍結したときは、必ず溶けてから操作してください。無理な作動は故障や破損の原因になります。
●お子さまにリモコンを操作させないでください。誤って人・物が挟まれるおそれがあります。
●故意にシャッターボックス内に水をかけないでください。電子部品や駆動装置が組込まれていますので、故障の原因になります。
●下枠やガイドレール内部は常に清掃し、異物等がないようにしてください。誤作動の原因になります。
●電波の強い地域では正常に作動しないおそれがあります。あらかじめご了承ください。
●極度の電圧変動が起きた場合、シャッターが正常に動かない場合があります。
●シャッターのそばでトランシーバーなどの無線機は使用しないでください。正常に作動しないおそれがあります。
●シャッターのそばで電子レンジや医療機器などの高周波ノイズを発生する機器は使用しないでください。正常に作動しないおそれがあります。
●建物の構造により電波がとどかない場合がありますので、必ず動作が確認できる位置で操作を行ってください。
●電池交換時に内部に水や異物が入らないように注意してください。故障の原因となります。
●停電時開閉機構は非常時にも必ず開閉できるよう、「開閉のしかた」にしたがって1年に1回程度作動確認をしてください。
●お手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金ベラなどを使用しないでください。
●洗剤は、必ず中性のものを使用してください。

お願い

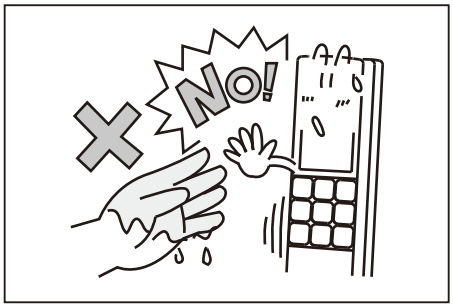
●下枠先端部に乗ったり、重量物をのせたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。



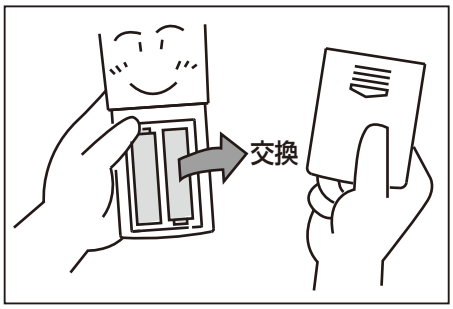
●連窓方立の上部が連窓ブラケットに差込まれていることを確認してください。差込まれていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながります。



●リモコンは濡れた手で操作しないでください。
また、リモコンは直射日光の当たる場所や高温・高湿の場所に置かないでください。



●リモコンを長期間使用しないときは、液漏れ防止のため、電池を抜いてください。



●電池交換時に新旧・異種の電池は混用をさけて、電池の＋－は正しく入れてください。

●電池交換時に内部に水や異物が入らないように注意してください。故障の原因となります。

●機器内部には精密な部品があります。故障の原因となりますので、本体を開けないでください。

ご使用にあたっての留意事項

※シャッターを閉めた状態でも、スラットの内側が濡れることがあります。これはスラットの表面に横向きの風雨があたった場合、スラットの表面から内側に水が伝わるためです。品質に問題はありませんので安心してお使いください。

※スラットの表面が、雨などに濡れていると開閉後にスラット内側に水滴が付くことがあります。これはシャッターを巻き上げると、スラットの表面と内側が重なるため表面に付いた水が内側に付くためです。

※開閉途中に引っ掛かるような動きをすることがあります。これは電動モーターの出力とシャッターのスラット重量を、巻取り軸に内蔵のスプリング力でバランスをとりながら開閉するという商品の特性上発生します。品質に問題はありませんので安心してお使いください。

※シャッターを閉めても各部のすき間から、外からの光が入ることがあります。さらに光をさえぎる場合は、遮光カーテンなどをご使用ください。

※シャッターを閉めた状態で、強風によりスラットがバタつき、音がしたりすることがありますが異常ではありません。

※シャッターが上昇して全開位置で止まるとき幅木がシャッターボックスに当たり少し反転して止まることがあります。これは電動モーターが自動でストップ位置を確認する動作です。品質に問題ありませんので安心してお使いください。

※通電中に手動開閉操作を行わないでください。設定位置がずれて途中で停止したり、反転したりすることがあります。通電中に手動開閉操作を行った場合は、P.21を参照して復帰してください。

※風が強い場合は、サッシを閉めてから開閉操作を行ってください。シャッターが途中で停止するおそれがあります。

※プレッシャーリターンセンサーは一定の負荷を検出して、停止・反転する構造です。サイズや障害物の位置によっては、検出するまでに時間がかかる場合があります。その場合、検出し反転するまでの間、モーターが回り続けるため、ボックス内でスラットの巻きだるみが発生します。巻きだるみが発生した状態で障害物を取除くと、スラットがずり落ちてくることがありますので、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから障害物を取除いてください。

※商品の特性上、シャッター全閉時にスラットを下に押付けた状態で負荷を検出して停止する仕様のため、スラットが波打った状態になります。品質に問題ありませんので、安心してお使いください。

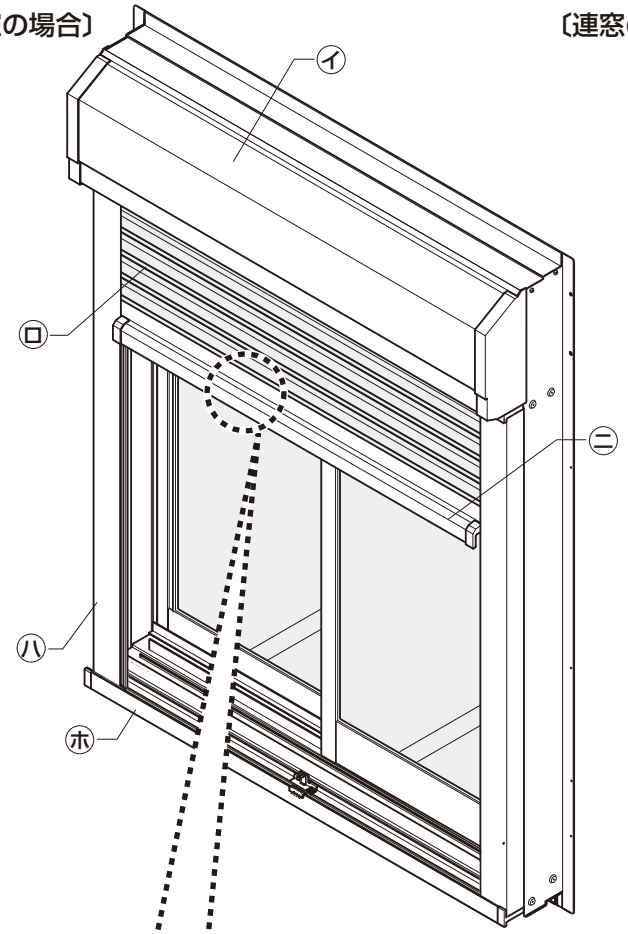
※負荷感知は一定の負荷を検出して停止・反転する仕様です。また、リモコン電動は反転から約５秒後に停止します。サイズや障害物の位置によっては、負荷を検出するまでに時間がかかる場合があります。

※シャッターが下降して全閉位置で止まるとき幅木が下枠に当たり少し反転して止まることがあります。これは電動モーターが自動でストップ位置を確認する動作です。品質に問題はありませんので安心してお使いください。

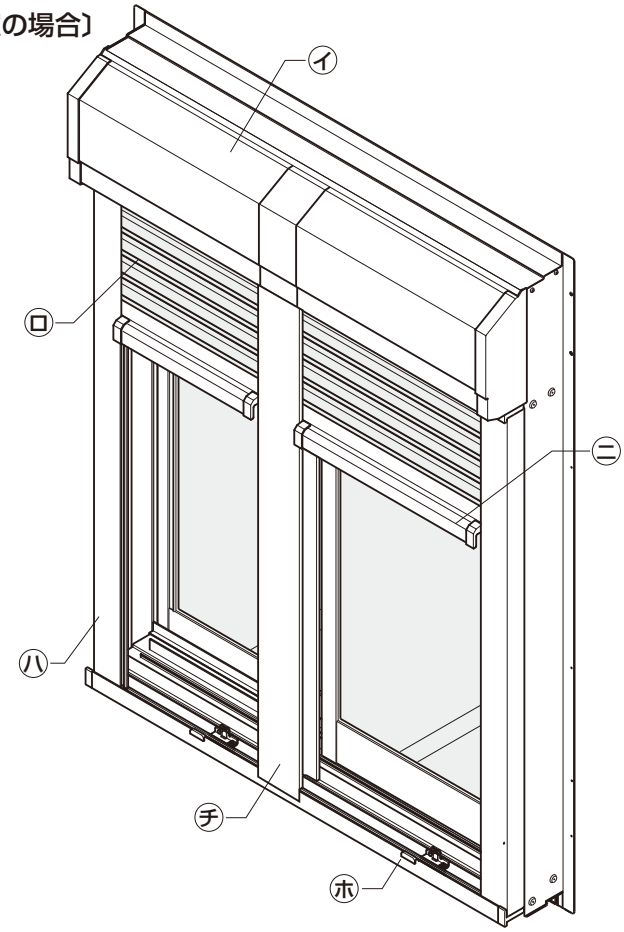
各部のなまえとはたらき

※この章では、本体の各部のなまえとはたらきを説明します。

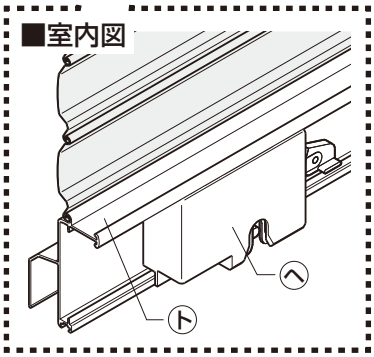
〔単窓の場合〕



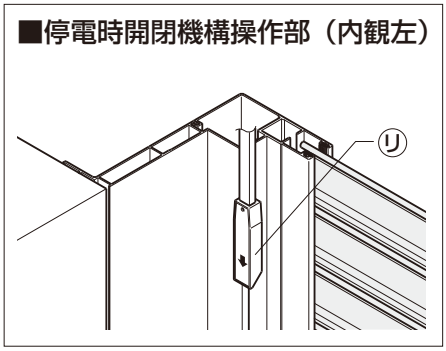
〔連窓の場合〕



■室内図



■停電時開閉機構操作部（内観左）



●各部のなまえとはたらき

記　号	なまえ	はたらき
㋑	シャッターボックス(点検口)	スラットおよびモーターなどを収納する部分です。モーターなどの点検口です。
㋺	スラット	カーテン部分です。
㋩	ガイドレール	両側にあり、スラットの動きを誘導します。
㋥	幅　木	スラットの最下部で、防犯性を高める幅木ロックが組込まれています。
㋭	下　枠	底の部分で、雨水などを流します。
㋝	幅木ロック	おやすみや外出するとき使用します。
㋛	手掛け	手動開閉のとき使用します。
㋣	連窓方立	連窓中央部にあり、スラットの動きを誘導します。
㋚	操作ハンドル	停電時開閉機構の操作用です。

ご使用前の確認事項

プレッシャーリターンセンサーとは

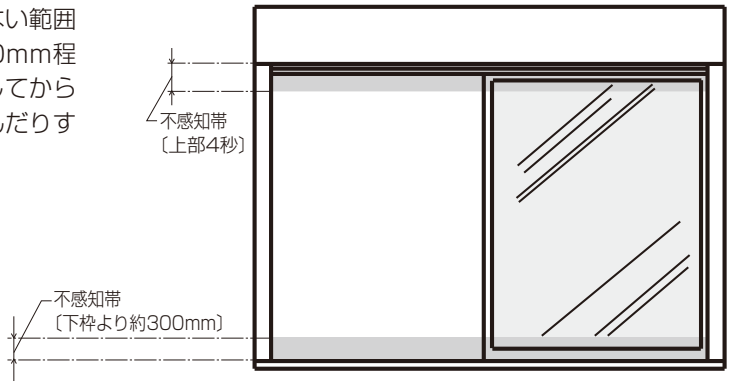
●シャッター下降中、幅木が物を挟むとシャッターは停止し、自動で反転上昇し5秒後に停止します。
この機構をプレッシャーリターンセンサーといいます。

お願い

●プレッシャーリターンセンサーは一定の負荷を検出して、停止・反転する構造です。サイズや障害物の位置によっては、検出するまでに時間がかかる場合があります。その場合、検出し反転するまでの間、モーターが回り続けるため、ボックス内でスラットの巻きだるみが発生します。巻きだるみが発生した状態で障害物を取除くと、スラットがずり落ちてくることがありますので、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから障害物を取除いてください。

●開口部にはプレッシャーリターンセンサーが感知できない範囲（不感知帯〔全開から閉開始後約４秒、下枠より300mm程度〕）が出ます。この範囲に人・物がないことを確認してから作動させてください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。

※停電から復帰した場合、最初の開閉は全域で反転しません。全閉位置で止まる時、幅木が下枠に強く当たり、少し反転して止まります。プレッシャーリターンセンサーは作動しません。
※停電復帰方法は、P.21を参照してください。



⚠ 注　意

●開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。
●開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

リモコンのなまえとはたらき

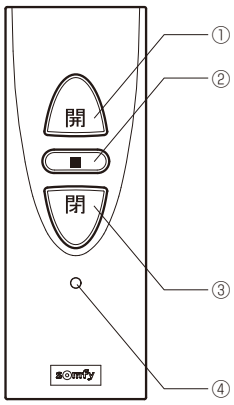
⚠ 注　意

●「イタリヤ（リモコン電動）」は、電波を利用する機器ですので、心臓ペースメーカーなどをご使用の方は念のため医療機器メーカー様にご相談ください。

1chリモコン

※操作のしかたは、P.9「操作のしかた」を参照ください。

■1chリモコン



●1chリモコンのなまえとはたらき

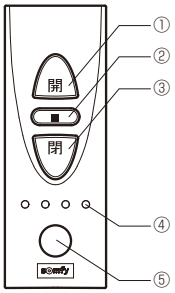
番号	なまえ	はたらき
①	開スイッチ	シャッターが上昇します。
②	停止スイッチ	シャッターが停止します。
③	閉スイッチ	シャッターが下降します。
④	送信ランプ（赤）	開・停止・閉スイッチを押している間点滅します。

※付属の電池は短期間で消耗することがあります。

4chリモコン

※操作のしかたは、P.9**「操作のしかた」**を参照ください。

■4chリモコン



●4chリモコンのなまえとはたらき

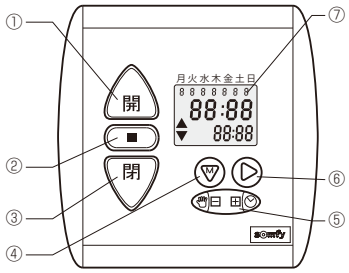
番号	なまえ	はたらき
①	開スイッチ	シャッターが上昇します。
②	停止スイッチ	シャッターが停止します。
③	閉スイッチ	シャッターが下降します。
④	送信ランプ（赤）	開・停止・閉スイッチを押している間点滅します。
⑤	チャンネル選択ボタン	操作するシャッターを変更するときに押します。

※付属の電池は短期間で消耗することがあります。

タイマー付リモコン

※操作のしかたは、P.10**「操作のしかた」**を参照ください。

■タイマー付リモコン



※現在時刻、日付、タイマー作動時間の設定方法は、P.14･15「設定のしかた」を参照ください。

●タイマー付リモコンのなまえとはたらき

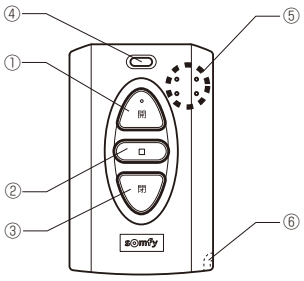
番号	なまえ	はたらき
①	開スイッチ	シャッターが上昇します。
②	停止スイッチ	シャッターが停止します。
③	閉スイッチ	シャッターが下降します。
④	メニューボタン	現在時刻、日付、タイマー作動時間を設定するときに押します。
⑤	設定ボタン	設定モード中に日付を変更したり、曜日を変更したりするときに押します。
⑥	切替ボタン	設定モードで次の項目に切り替えるときに押します。
⑦	表示パネル	曜日、現在時刻、タイマー作動時間が表示されます。 ※曜日は右の数字で表示されます。 1…月 2…火 3…水 4…木 5…金 6…土 7…日

※付属の電池は短期間で消耗することがあります。

カードリモコン

※操作のしかたは、P.10**「操作のしかた」**を参照ください。

■カードリモコン



●カードリモコンのなまえとはたらき

番号	なまえ	はたらき
①	開スイッチ	シャッターが上昇します。
②	停止スイッチ	シャッターが停止します。
③	閉スイッチ	シャッターが下降します。
④	送信ランプ（赤）	開･停止･閉スイッチを押している間点滅します。電池がなくなるとランプはつかなくなり、シャッターの操作ができなくなります。カードリモコンは電池交換時期が近づくと、ランプが暗くなると同時に点滅間隔が短くなります。早めの電池交換をお願いします。 ※交換方法についてはP.12をご参照ください。
⑤	スピーカー	開･停止･閉スイッチを押すとピッという音が1回鳴ります。電池交換時期が近づくと音が2回鳴るようになります。早めの電池交換をお願いします。（電池がなくなると音は鳴らなくなり、シャッターの操作ができなくなります） ※交換方法についてはP.12をご参照ください。
⑥	ストラップ用穴	携帯用ストラップを取付けることができます。

※付属の電池は短期間で消耗することがあります。

操作のしかた

※この章では、リモコンの操作のしかたについて説明しています。

⚠ 注　意

●開閉の際は周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。
●開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

1chリモコンの操作のしかた

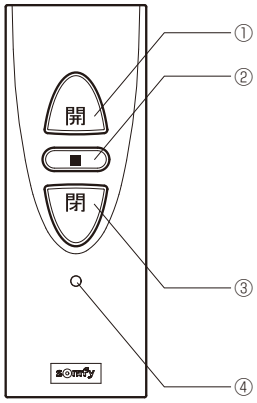
■1chリモコンからの操作のしかた

【開ける場合】
●開スイッチ①を押してください。
シャッターが上昇し、開スイッチ①を押している間、送信ランプ（赤）④が点滅します。

【閉める場合】
●閉スイッチ③を押してください。
シャッターが下降し、閉スイッチ③を押している間、送信ランプ（赤）④が点滅します。

【途中で止める場合】
●停止スイッチ②を押してください。
シャッターが途中停止し、停止スイッチ②を押している間、送信ランプ（赤）④が点滅します。

■1chリモコン



●1chリモコンのなまえ

番号	なまえ
①	開スイッチ
②	停止スイッチ
③	閉スイッチ
④	送信ランプ（赤）

4chリモコンの操作のしかた

■4chリモコンからの操作のしかた

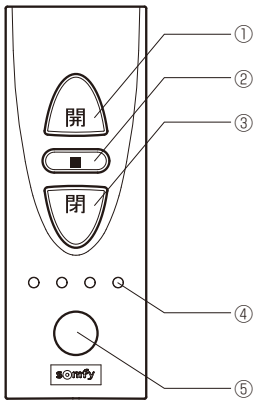
【開ける場合】
●開スイッチ①を押してください。
シャッターが上昇し、開スイッチ①を押している間、送信ランプ（赤）④が点滅します。

【閉める場合】
●閉スイッチ③を押してください。
シャッターが下降し、閉スイッチ③を押している間、送信ランプ（赤）④が点滅します。

【途中で止める場合】
●停止スイッチ②を押してください。
シャッターが途中停止し、停止スイッチ②を押している間、送信ランプ（赤）④が点滅します。

【操作するシャッターを変更する場合】
●チャンネル選択ボタン⑤を押してください。登録されているシャッターのチャンネルに合わせます。選択されているチャンネルが約5秒間早い間隔で点滅します。
この点滅している間にチャンネル選択ボタンを押すと、チャンネルが切替ります。

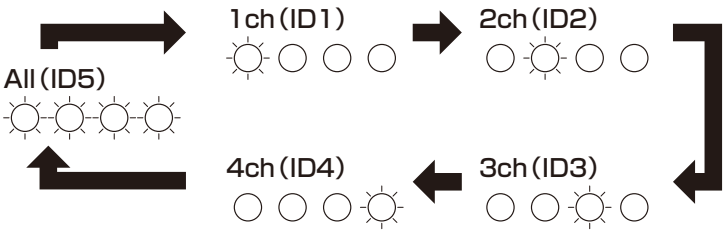
■4chリモコン



●4chリモコンのなまえ

番号	なまえ
①	開スイッチ
②	停止スイッチ
③	閉スイッチ
④	送信ランプ（赤）
⑤	チャンネル選択ボタン

●チャンネルの切替え



タイマー付リモコンの操作のしかた

■タイマー付リモコンからの操作のしかた

【開ける場合】

●開スイッチ①を押してください。
シャッターが上昇します。

【閉める場合】

●閉スイッチ③を押してください。
シャッターが下降します。

【途中で止める場合】

●停止スイッチ②を押してください。
シャッターが途中停止します。

【現在時刻・日付を変更する場合】

●メニューボタン④を約2秒押してください。切替ボタン⑥と設定ボタン⑤を押してください。
設定方法はP.14「設定のしかた」を参照ください。

【タイマー作動時間を設定する場合】

●メニューボタン④を約2秒押してください。再度メニューボタン④を2回押し、切替ボタン⑥と設定ボタン⑤を押してください。
設定方法はP.15「設定のしかた」を参照ください。

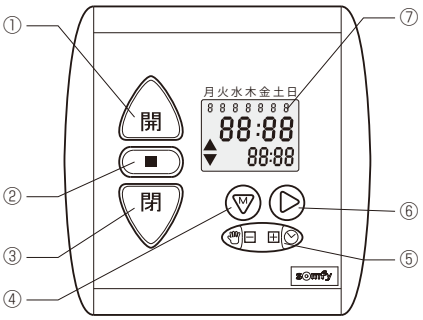
【タイマー機能のON/OFFにする場合】

●設定ボタン⑤の✋を約2秒長押しするとタイマーがOFFになり、⏲を約2秒長押しするとタイマーがONになります。

【日付を表示する場合】

●切替ボタン⑥をワンタッチで押すと、日付が表示されます。メニューボタン④を押すと元に戻ります。日付表示は約3秒で元の状態に戻ります。

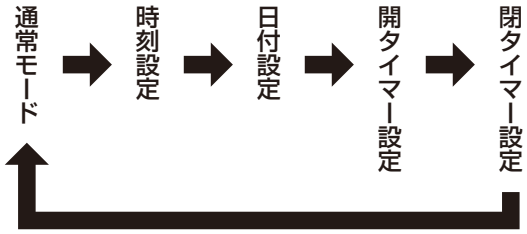
■タイマー付リモコン



●タイマー付リモコンのなまえ

番号	なまえ
①	開スイッチ
②	停止スイッチ
③	閉スイッチ
④	メニューボタン
⑤	設定ボタン
⑥	切替ボタン
⑦	表示パネル

●設定の切替え



カードリモコンの操作のしかた

■カードリモコンからの操作のしかた

【開ける場合】

●開スイッチ①を押してください。シャッターが上昇し、開スイッチ①を押している間、送信ランプ（赤）④が点滅します。

【閉める場合】

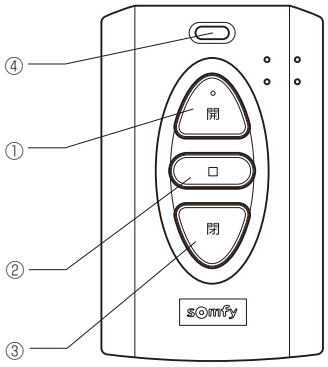
●閉スイッチ③を押してください。シャッターが下降し、閉スイッチ③を押している間、送信ランプ（赤）④が点滅します。

【途中で止める場合】

●停止スイッチ②を押してください。シャッターが途中停止し、停止スイッチ②を押している間、送信ランプ（赤）④が点滅します。

※2つのリモコンを同時に操作すると動かないことがありますので、1つずつ操作してください。

■カードリモコン



●カードリモコンのなまえ

番号	なまえ
①	開スイッチ
②	停止スイッチ
③	閉スイッチ
④	送信ランプ（赤）

電池交換のしかた

※この章では、電池交換のしかたについて説明しています。

1chリモコン・4chリモコンの電池交換のしかた

■電池交換時期

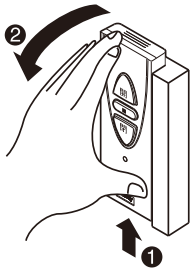
※開・停止・閉スイッチを押しても反応が悪い場合、電池交換時期が近づいています。

■使用電池

●1chリモコン、4chリモコン
※リチウム電池：CR2430またはCR2032をご使用ください。
※電池寿命の目安（1日4回、1回2秒間スイッチを押した場合）
CR2430…約2年
CR2032…約1年

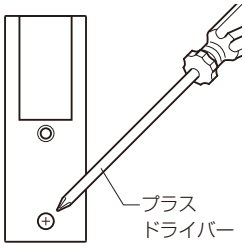
■電池の取外し

①リモコンを上にずらしリモコン上部を指で押さえ手前に引き、ホルダーから外します。

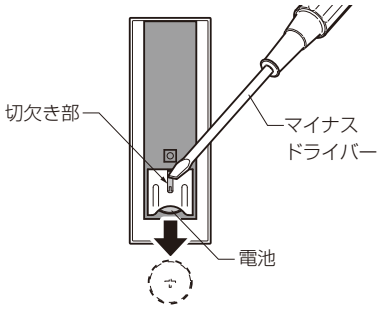


②リモコン本体を裏返します。
リモコンの裏ぶたのねじを外します。

【リモコン本体裏面】



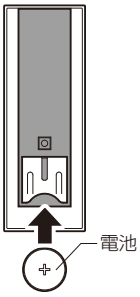
③電池を外します。
電池ホルダーの切欠き部にマイナスドライバーなどを差込み、電池を下方向にスライドさせてください。電池が外れます。



■電池の取付け

①新しい電池を取付けます。新しい電池を上方向に押込んでください。電池が取付けられます。
※下図のようにプラス面を上にして入れてください。

【リモコン本体裏面】

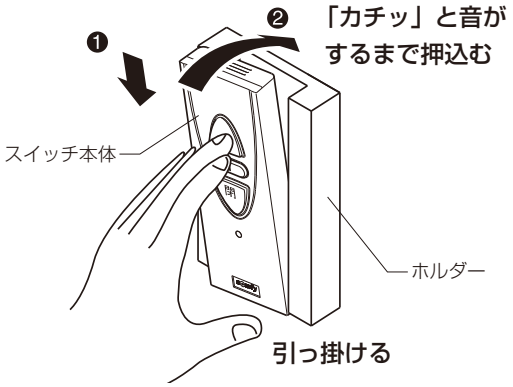


お願い

●電池交換時に内部に水や異物が入らないように注意してください。故障の原因となります。

②リモコンの裏ぶたを取付けます。プラスドライバーで裏ぶたのねじを締めます。

③リモコンをホルダーに戻します。（ホルダー下部のフックにリモコンの下部にある溝を当て、リモコンの前面上部をホルダーに取り付ける方向で『カチッ』と音がするまで押し込みます。）



タイマー付リモコンの電池交換のしかた

■電池交換時期

※開・停止・閉スイッチを押しても反応が悪い場合、電池交換時期が近づいています。

■使用電池

※単4型アルカリ乾電池
※電池寿命の目安（1日にタイマー作動2回と操作を4回した場合）…約1年

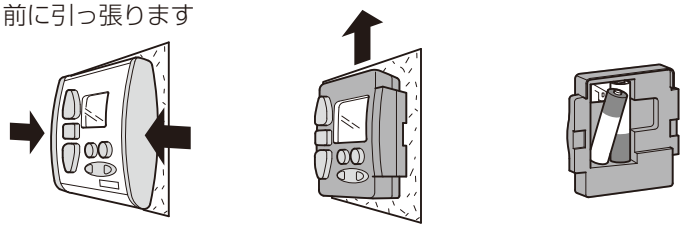
■電池の取外し

注）電池交換時には現在時刻がリセット（0:00）されます。
交換時に必ず現在の時刻を設定してください。

①フロントカバーの両サイドをつかみ、手前に引っ張ります

②本体を上方向にスライドさせます。

③電池を取外します。



■電池交換時のご注意

●＋／－は正しく入れてください。
●単4型アルカリ乾電池を使用してください。
（充電式電池は使用できません）
●新旧の電池や違う種類の電池をいっしょに使用しないでください。
※電池の取扱いを誤ると電池の液もれにより、周囲汚損の原因になることがあります。

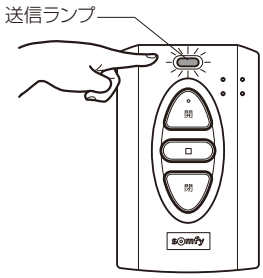
■電池の取付け

①電池の取外しの逆の手順で行なってください。

カードリモコンの電池交換のしかた

■電池交換時期

※開・停止・閉スイッチを押している間、送信ランプ（赤）が点滅しますが、電池交換時期が近づくと送信ランプ（赤）は暗くなると同時に点滅間隔が短くなります。また、開・停止・閉スイッチを押すとピッという音が1回鳴りますが、電池交換時期が近づくと2回鳴るようになります。早めに新品の電池に交換してください。
※ 電池がなくなるとランプはつかなくなり、シャッターの操作ができなくなります。



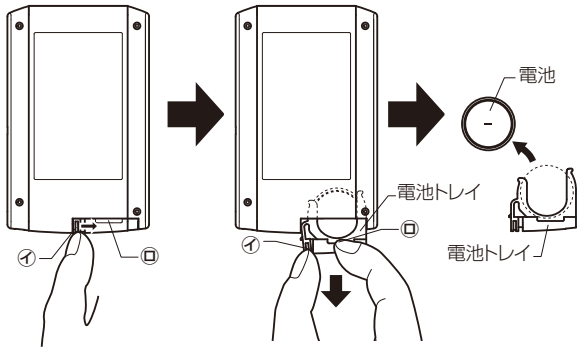
■使用電池

※リチウム電池：CR2032
※電池寿命の目安（1日4回、1回2秒間スイッチを押した場合）…約1年

■電池の取外し

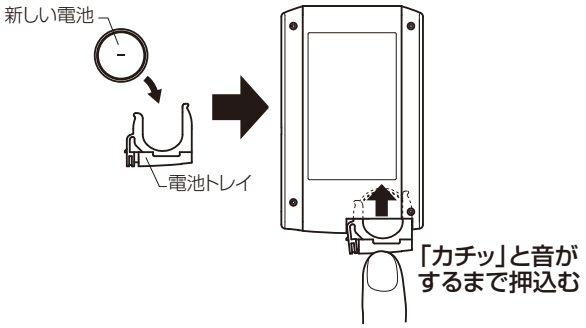
①カードリモコンを裏返し、㋑の溝にツメを引っ掛け、矢印の方向に動かします。
②①の状態のまま㋺の溝にツメを引っ掛けて電池トレイを引っ張り出します。
② 電池トレイより電池を外します。

カードリモコン裏面



■電池の取付け

①電池トレイに新しい電池を入れます。
※右図のように裏面に電池の－面がくるように入れてください。
②そのまま電池トレイを「カチッ」と音がするまで押込んでください。



お願い

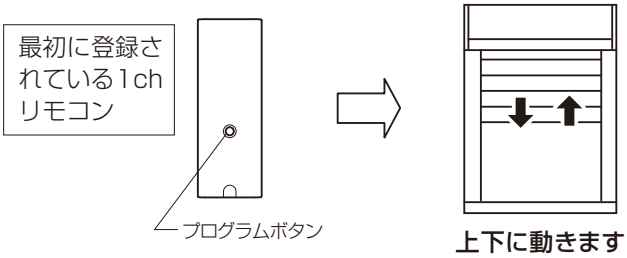
●電池交換時に内部に水や異物が入らないように注意してください。故障の原因となります。

追加リモコンの登録と削除

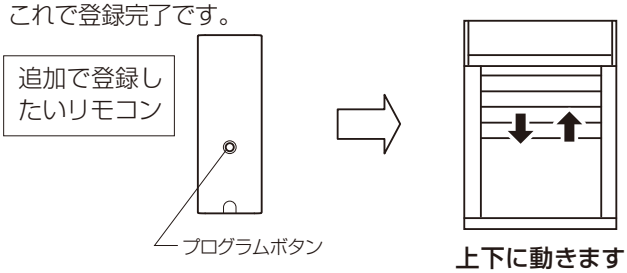
追加リモコンの登録のしかた

※リモコンを追加で複数台登録する場合のリモコンの登録のしかたです。
※通電状態で行ってください。
※シャッターを中間位置まで作動させてください。

①シャッターが小さく上下に動くまで（約2秒）、最初に登録されている1chリモコンのプログラムボタンを押します。

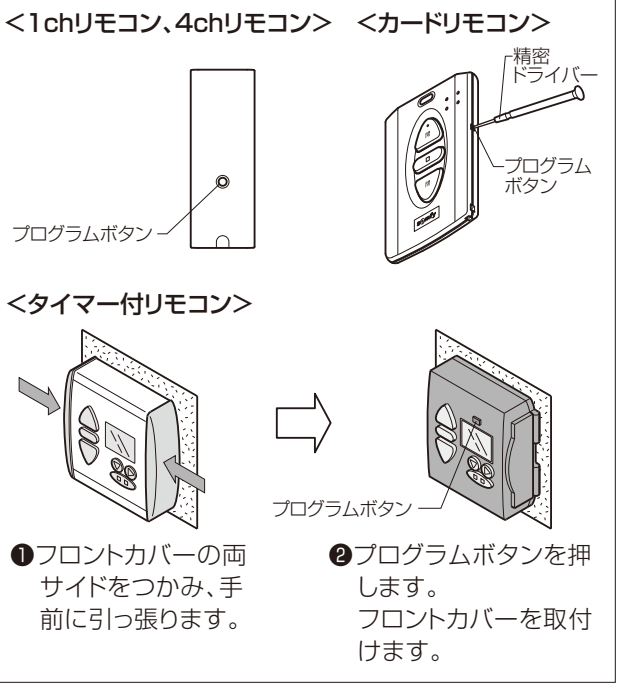


②追加で登録したいリモコンのプログラムボタンを一度短く押します。その後、シャッターが小さく上下に動きます。これで登録完了です。



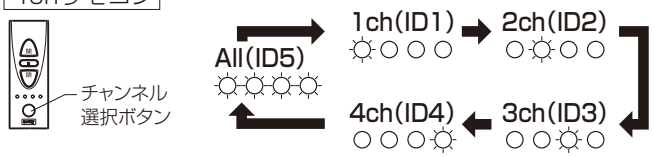
●4chリモコンの登録
（1）4chリモコンを追加する場合
チャンネル選択ボタンを押して、チャンネルを選択します。
次に上記①、②の手順でリモコンを登録します。
（2）4chリモコンの各チャンネルに複数シャッターを登録する場合
①複数シャッターを登録する4chリモコンのチャンネルを選択します。
②シャッターが小さく上下に動くまで（約2秒）最初に登録されている1chリモコンのプログラムボタンを押します。
③4chリモコン裏側のプログラムボタンを1度短く押します。その後、シャッターが小さく上下に動きます。
※シャッター１台ずつの登録が必要となります。登録するシャッター数に合わせて②、③の手順を繰り返し行なってください。

■各リモコンのプログラムボタンの位置



■チャンネルの選択方法

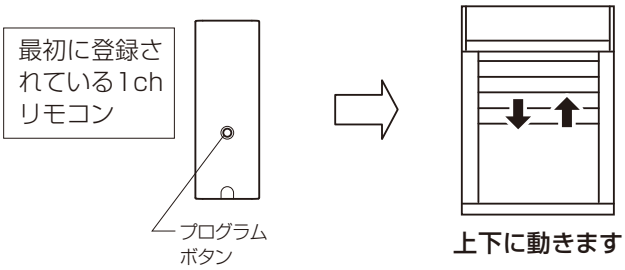
チャンネル選択ボタンを押してください。現在選択されているチャンネル（ID）が約5秒間早い間隔で点滅します。この点滅をしている間にチャンネル選択ボタンを押すとチャンネル（ID）が切り替わります。
※4chリモコンは各チャンネル（ID1～ID5）に登録したシャッターを操作することが可能です。



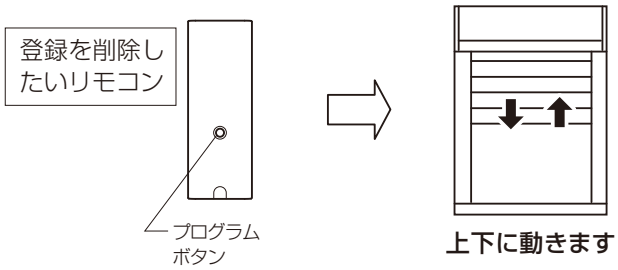
追加リモコンの削除のしかた

※リモコンを追加で複数台登録している場合のリモコンの削除のしかたです。
※リモコンが複数台登録されている場合は、下記の①、②の手順を繰り返し行なってください。
※シャッターを中間位置まで作動させてください。

①最初に登録されている1chリモコンのプログラムボタンをシャッターが小さく上下に動くまで（約2秒）押します。



②登録を削除したいリモコンのプログラムボタンを一度短く押します。その後、シャッターが小さく上下に動きます。



※4chリモコンの削除
4chリモコンの場合は、まず初めにチャンネル選択ボタンを押して、チャンネルを選択します。
次に上記①、②の手順でリモコンを削除します。

設定のしかた

※この章では、タイマー付リモコンの「現在時刻」、「日付」、「タイマー作動時間」の設定のしかたについて説明しています。

●設定例の日時	：	2015年12月24日 午前10：45
●シャッター開タイマー設定時刻	：	月～金曜日は午前6：30 土、日曜日は午前7：30
●シャッター閉タイマー設定時刻	：	月～日曜日まで全て19：30（午後7：30）

1 初期状態

初期状態

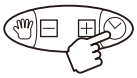
2 現在時刻の設定方法

時刻

2秒間押し続ける

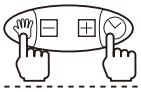
1回押す

10:45に設定



押し続ける

・・・



時刻を合わせる

時刻の登録

1回押す

3 日付の設定方法

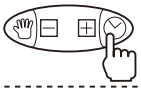
日付

1回押す

年

1回押す

2015に設定

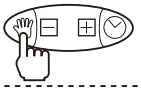


7回押す

月

1回押す

12に設定

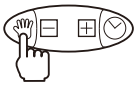


1回押す

日

1回押す

24に設定

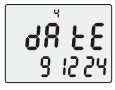


8回押す

・・・

日付の登録

1回押す



4 タイマー作動時間の設定方法

シャッター開タイマー

1回押す

全ての曜日の一括設定

1回押す

6:30に設定

押し続ける

時刻を合わせる

土曜日

6回押す

7:30に設定

押し続ける

時刻を合わせる

日曜日

1回押す

7:30に設定

押し続ける

時刻を合わせる

シャッター開タイマーの登録

1回押す

シャッター閉タイマー

1回押す

全ての曜日の一括設定

1回押す

19:30に設定

押し続ける

時刻を合わせる

シャッター閉タイマーの登録

1回押す

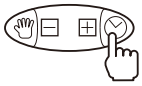
シャッター開タイマー、シャッター閉タイマーの時刻設定は、OFF（作動させないこと）も可能です。
時刻設定で、23：59〜0：00の間に「OFF」があり、それを設定します。

5 設定完了方法

2秒間押し続ける

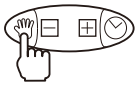
タイマー機能のON/OFF

タイマー機能のON



2秒間押し続ける

タイマー機能のOFF



2秒間押し続ける

通常操作

タイマー作動以外でシャッターを作動させる場合は、開または閉スイッチを押します。
停止させる場合は停止スイッチを押します。

日付表示

日付表示

0.5秒間押し続ける

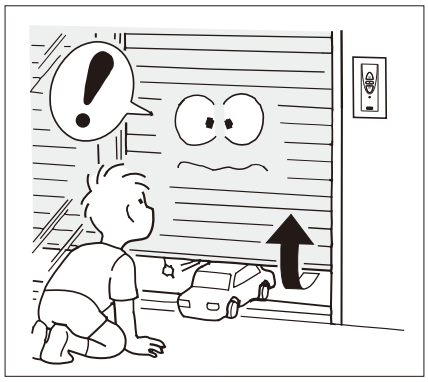
※日付表示は3秒間表示後時刻表示に戻ります。

異常の原因と解除のしかた

※この章では、異常の原因と解除のしかたについて説明しています。

異常の原因と解除のしかた

■異常が表示されるのは以下の原因が考えられます。（故障ではありません）



●シャッター下降中に、幅木が異物（人・物など）を感知した場合
→シャッターはただちに停止し、自動で上昇して5秒後に停止します。
（シャッター周辺に異物（人・物など）がないか確認し、取除いてください。）

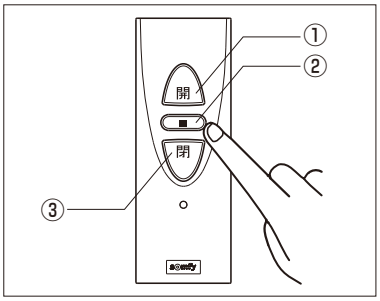
●シャッター上昇中に幅木にぶらさがった場合
→シャッターはその場で停止します。
（シャッターにぶらさがらないでください。）

●強風時に開閉した場合
→開時は停止し、閉時は反転上昇します。

●手動開閉状態でリモコンを操作して、約1分モーターを連続作動させた場合
→シャッターは動きません。

●通電中に手動開閉操作をし、途中位置で電動操作に切替えてシャッターを全閉にした場合
→下枠に当たった後、自動で上昇して5秒後に停止します。

●通電中に手動開閉操作をし、途中位置で電動操作に切替えてシャッターを全開にした場合
→上枠に当たった後、全開で停止します。



■解除のしかた

→停止スイッチ②を押してください。
解除後、開スイッチ①を押し、シャッターを全開にしてください。通常状態に戻ります。

●強風時に異常が発生した場合の操作のしかた

■解除のしかた

→障子を閉め、異常表示を解除した後にシャッターを開閉してください。
それでも異常が発生する場合は、異常を解除せず開または閉スイッチを押続けてください。
それでも停止する場合は、作動させないでください。

●連続して開閉しモーター保護装置が働いてシャッターが動かなくなってしまった場合

■解除のしかた

→10～15分程度休ませてから開もしくは閉スイッチを押してください。

●1度停電して復帰した場合
●全開、全閉しないで5回連続して作動させた場合

■解除のしかた

→シャッターがどの位置であっても、開スイッチ①を押し、シャッターを全開にしてください。通常状態に戻ります。

全閉時、サイズにより幅木と下枠の間にすき間が発生することがありますが、再度全開、全閉にするとすき間はなくなります。

連窓方立の取外し方・取付け方

⚠ 注　意

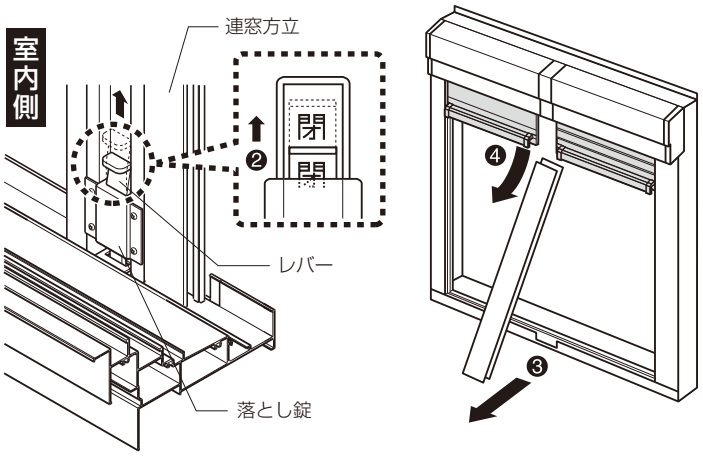
●連窓方立の取付け後に、落し錠のレバー部『閉』刻印が半分以上かくれるまでレバーを下げて、落し錠受けに固定されていることを確認してください。固定されていない場合、脱落して人身事故や物損事故につながります。

お願い

●連窓方立の上部が連窓ブラケットに差込まれていることを確認してください。差込まれていない場合、脱落して人身事故や物損事故につながります。

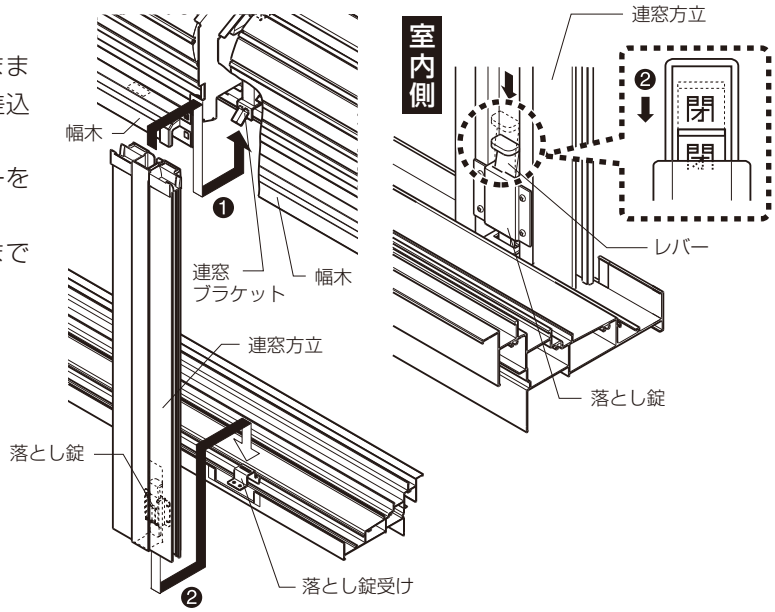
■「連窓方立」の取外し方

①シャッターを開けた状態にします。
②連窓方立の室内側下部についている落し錠のレバーを引上げます。
③連窓方立の下部を室外側に押出します。
④連窓方立を下方向に下げて、上部から引抜きます。



■「連窓方立」の取付け方

①連窓方立の上部に左右の幅木を差込みます。そのまま連窓方立を押上げ、その上部を連窓ブラケットに差込みます。
②連窓方立の下部を室内側に引込み、落し錠のレバーを下げ、落し錠受けに固定します。
※落し錠のレバー部『閉』刻印が半分以上かくれるまでレバーを下げ、落し錠受けに固定します。



幅木ロック機構の使い方

この章では、幅木ロックの操作のしかたについて説明しています。

1 幅木ロックとは

●自動ロック機構を装備していますが、おやすみ、外出時の防犯性を高めるため、手動式の幅木ロックを用意しています。

お願い

●おやすみまたは外出の際は、安全のため、シャッターを閉めて幅木ロックを施錠してください。また、必ず内側のサッシも施錠してください。強風・雨の際もきちんと施錠してください。

2 幅木ロックの操作のしかた

■幅木ロックの施錠方法

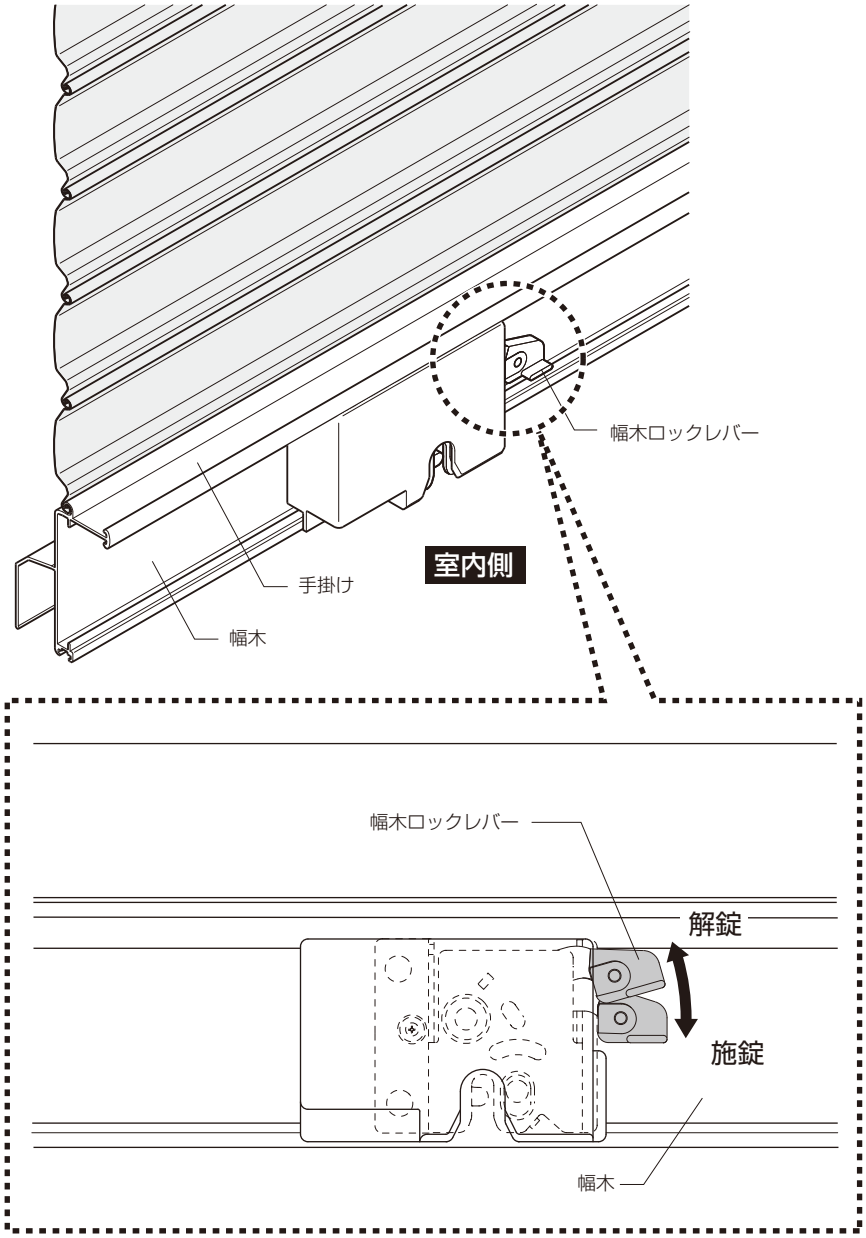
①シャッターを全閉にします。
②幅木の手掛けを下に押付けながら、幅木ロックレバーを施錠側に倒します。

お願い

●幅木ロックを施錠したまま、シャッターを開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。

■幅木ロックの解錠方法

●幅木ロックレバーを解錠側に倒します。



停電時開閉機構の使い方

※この章では手動での開閉のしかたについて説明しています。

1 停電時開閉機構とは

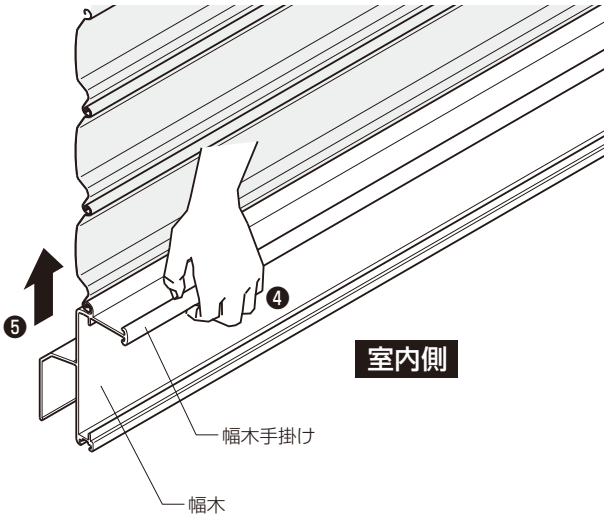
※「イタリヤ（リモコン電動）」は電動式シャッターですが、手動でも開け閉めできます。

お願い

●停電時開閉機構は非常時にも必ず開閉できるよう､｢開閉のしかた｣にしたがって1年に1回程度作動確認をしてください。

2 開閉のしかた

❶サッシの障子を開きP.19「幅木ロックの操作のしかた」を参照して幅木ロックの幅木ロックレバーを解除します。
❷操作ハンドルをホルダーから外してください。
❸操作ハンドルを下方に引いてください。
（操作ハンドルを下方に引くとスラットが巻き上がり大きな音が発生する場合がありますが故障ではありません。）
❹幅木手掛けを持ちます。
❺そのまま、幅木を持ち上げ、シャッターを開けます。
❻電動操作への復帰はP.21「電動復帰のしかた」を参照して、復帰操作をしてください。



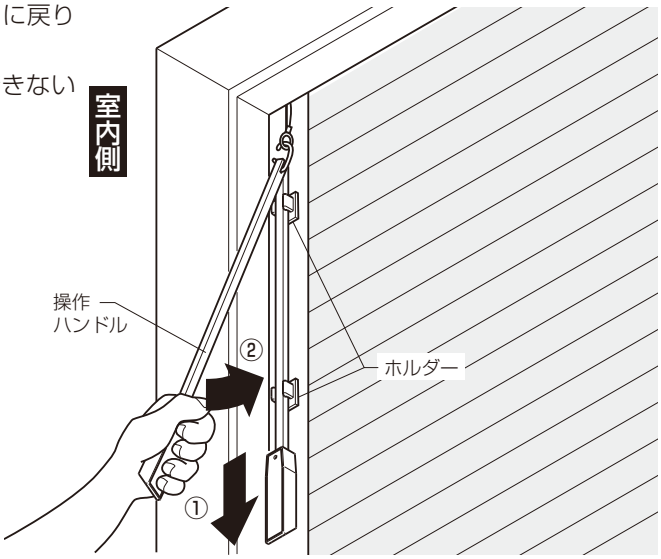
⚠ 注　意

●開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。
●開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

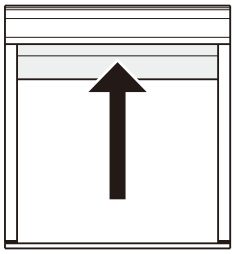
3 電動復帰のしかた

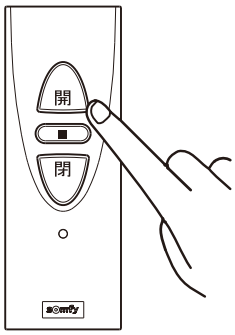
●停電時開閉機構を使った場合、以下の操作にて電動復帰を行ってください。

①操作ハンドルを下方に引いてください。電動開閉に戻ります。
※幅木の手掛けを持ち上げシャッターが開け閉めできないことを確認してください。
②操作ハンドルをホルダーに固定してください。



③開スイッチを押し、シャッターを全開にしてください。通常状態に戻ります。
※シャッターが全開や中間で停止していても、本操作を行ってください。





開スイッチを押します。

通電中に手動開閉操作をし、電動操作に切替えた場合の対応

■通電中に手動開閉操作をし、電動操作に切替えた場合に以下の操作を行ってください。（故障ではありません。）

●全開位置からシャッターを下げて、途中位置で電動操作に切替えた場合
→閉スイッチを押し、シャッターを少し下げた後、開スイッチを押し、シャッターを全開にしてください。

●途中位置からシャッターを開閉して、電動操作に切替えた場合
→開スイッチを押し、シャッターを全開にしてください。

●全閉位置からシャッターを上げて、途中位置で電動操作に切替えた場合
→開スイッチを押し、シャッターを少し上げた後、閉スイッチを押し、シャッターを全閉にしてください。

点検とお手入れ

※この章では、操作をする場合に守るべき安全事項を説明しています。

点検

●少なくても1ヵ月に2〜3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。
●安全にご使用いただくため下記の点検を行ってください。
点検を行って、作動不良や異常がありましたら、お買い求めの工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターへご連絡ください。
●プレッシャーリターンセンサーの点検を行う場合は、必ず「プレッシャーリターンセンサーの作動点検」の手順にしたがってください。本手順にしたがわない場合、事故のおそれがあります。

●点検個所

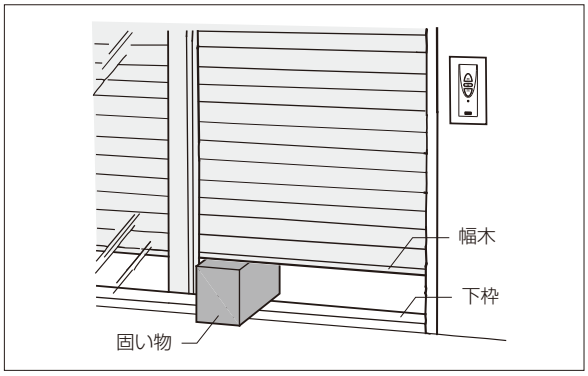
番　号	点検部分	点検内容
①	ガイドレール部 スラット部	作動がスムーズに行えないような傷や曲がりなどの変形・異常な音はないか。
②	プレッシャーリターン センサーの作動	プレッシャーリターンセンサーが作動するか本章の点検手順にしたがってください。
③	停電時開閉	P.20「**■停電時開閉機構の使い方**」にしたがい、手動で開閉できるか。

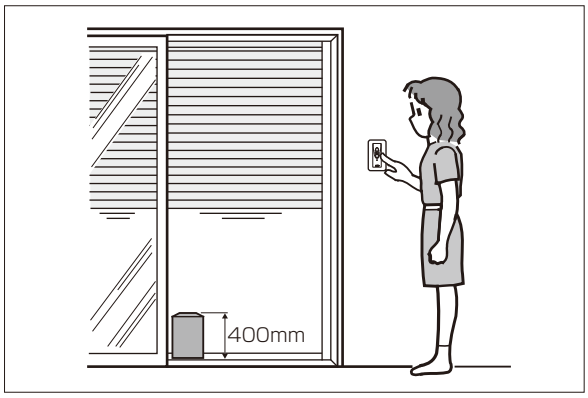
プレッシャーリターンセンサーの作動点検

⚠ 注　意

●プレッシャーリターンセンサーを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。
シャッターと窓枠の間に手を挟まれてケガをするおそれがあります。
●プレッシャーリターンセンサーの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどありましたらリモコンの停止スイッチを押して、ただちにシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障の原因になります。

※シャッターの初期設定完了後に実施してください。
①シャッターを全開にしてください。
②下枠中央に高さ400mm程度の固い物を置いてください。
※開口上部で実施しないでください。スラットの巻きだるみが発生し、スラットが破損する場合があります。
③リモコンの閉スイッチを押してください。
→シャッターが下降します。
④シャッターが固い物に当り、下降が停止し自動的に上昇し5秒後に停止します。
※リモコンの停止スイッチを押して解除してください。
⑤シャッターが反転後停止していることを確認してから下枠の上の固い物を取除いてください。
※再度作動点検を行う場合は、1度全開にしてから実施してください。
⑥シャッターが以下の状態のとき、お買い求めの工務店、販売店または当社お客さま相談センターへ連絡してください。
→シャッターの下降が停止しない。
→シャッターが自動的に上昇しない。
※5回連続して行うと、停電復帰状態になります。解除方法は、P.17「■異常の原因と解除のしかた」を参照してください。



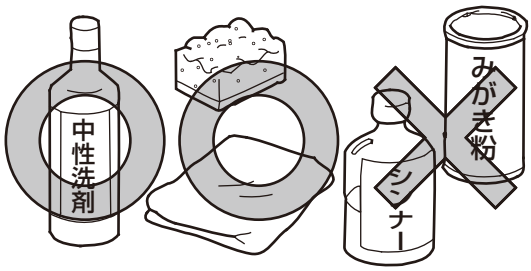


お手入れ

●アルミニウムおよび鋼板で作られています。表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などは、しみ、腐食、作動不良などの原因になりますので定期的に掃除してください。
●下枠やガイドレール内部は常に清掃し、異物等がないようにしてください。作動不良や破損するおそれがあります。
●長期間、清掃しないままにしておきますと、表面やガイドレール内部に付着した汚れは、しみ、腐食、作動不良などの原因になります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくても月に1回程度です。
特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

お願い

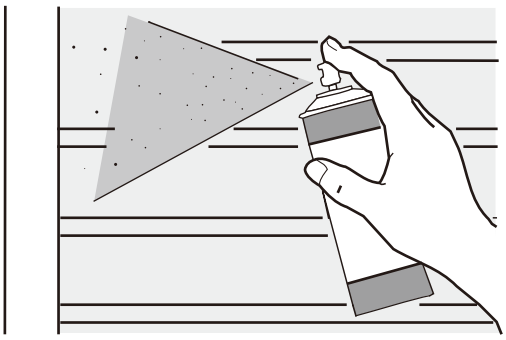
●お手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金ベラなどを使用しないでください。
●洗剤は、必ず中性のものを使用してください。



①表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などを取除いてください。
②下枠やガイドレール内部に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などをふき取ってください。隅の方は、歯ブラシ・洋服ブラシなどで掃除してください。

③以下の要領で汚れを落としてください。
〔あまり汚れがひどくない部分〕
・ぞうきんで水ぶきした後、からぶきしてください。
〔特に汚れがひどい部分〕
・うすめた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないようぞうきんでよく水ぶきした後、からぶきしてください。

④鋼板部にサビがでた場合
・まず、目の細かい紙ヤスリなどでサビを完全に落とします。次に、市販のスプレー式ラッカーを吹付けてください。そのとき、スラットのかみ合っている部分などの可動部にかからないように注意してください。



シャッターが動かない場合

※ここでは、故障の見分け方および、故障やご使用上でご不明な点の連絡先について説明します。
シャッターが動かない場合、リモコンの停止スイッチを押してから、下表「シャッターが動かない場合」にしたがってください。

シャッターが動かない場合

ここをお調べください	処置のしかた	参照ページ
停電していませんか？	停電が終わるまでお待ちください。 停電復帰後、「**■異常の原因と解除のしかた**」を参照してください。	P.17
ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーをセットしてください。 ブレーカーを戻した後、「**■異常の原因と解除のしかた**」を参照してください。	P.17
スイッチは確実に押しましたか？	本書の「**■操作のしかた**」を参照してください。	P.9・10
幅木ロックが施錠側になっていませんか？	解錠側にしてください。	P.19
手動で開閉できますか？	操作ハンドルを引いて電動開閉に戻してください。	P.20
ガイドレールに障害物がありませんか？	障害物を取除いてください。	P.3
ガイドレール・スラットなどが変形していませんか？	変形している場合はただちに使用を中止し、 「**■重要なお知らせ**」の窓口までご連絡ください。	P.1
連続して開閉しませんでしたか？	10～15分程度休ませてから開閉してください。	P.3
連続でリモコンを押していませんか？	少し待ってからリモコンを操作してください。	—
リモコンの電池が切れていませんか？	本書の「**■電池交換のしかた**」を参照して電池交換をしてください。	P.11・12
シャッターが凍結していませんか？	凍結している場合は、溶けるまで待ってから作動させてください。無理に作動させると故障の原因となります。	P.3
電池の向きを間違えていませんか？	本書の「**■電池交換のしかた**」を参照して電池の向きを入れかえてください。	P.11・12
無線機を使っていませんか？	シャッターのそばで無線機は使用しないでください。	—
高周波ノイズの出る物が近くにありませんか？	シャッターのそばで電子レンジや医療機器などの高周波ノイズを発生する機器は使用しないでください。	—

●お問合わせ先については、P.1「**■重要なお知らせ**」を参照してください。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ **対象商品**　サッシ・ドア商品

■ **保証期間**　施工者よりの引き渡し日（注1・注2）から2年間（電装部品については1年間）
注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品（同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る）からの雨水浸入については10年間とします。

■ **保証内容**　取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。
なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。
不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ **免責事項**　保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など）
②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
（例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など）
③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
（例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど）
⑧天災その他の不可抗力
（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
（例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合）
⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

＊保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。
＊本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

LIXIL
Link to Good Living

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

http://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）

TEL. **0120-126-001**　FAX. **03-3638-8447**

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装（株）サービスデスクナビダイヤル　TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL. **0120-413-433**　FAX. **0120-413-436**

http://www.lixil.co.jp/support/

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号	MAL-554C	事業所コード	AW87	2017.2.6 発行

MAL554C

LIXIL

イタリヤ（リモコン電動）取扱い説明書

2017.2